

もともとくさ サツマイモ基腐れ病実態は

6割のほ場で確認された



稲留 光晴 議員

基腐れ病に対する国からの支援策について説明会が行われたが、被害状況についての実態はどうか。

6割のほ場で確認された

町長

8月以降被害が拡大しており6割のほ場で基腐れ病が確認された。うち3割のほ場で3割以上の被害が確認されている。

作付世帯数と被害面積は

稲留議員

作付世帯数と被害面積はいくらか。

1800世帯で3000haである

農林振興課長

作付世帯数は1800世帯で面積は500ha、うち6割で被害がでっており被害面積は300haである。



基腐れ病で変色したサツマイモ

本町独自の所得補償が必要では

稲留議員

国の支援策では十分な補填は難しい。本町独自支援策として所得補償が必要ではないか。

国支援策や今後の対策を踏まえ検討する

町長

国の支援策で被害率が3割以上のほ場について、10a当たり2万円の補助があり説明会で33戸の申請があった。町独自支援策については、国の支援策や病害対策等を踏まえ検討する。

毎年崩れる道路の恒久対策を求める

稲留議員

持留消防詰所と旧持留中学校跡地の間の町道で、毎年法面が崩れる。生活道路として恒久的な対策を求める。



恒久対策が必要な法面

最低限の応急措置を施した

町長

この箇所は平成29年にも災害が発生している。復旧に際し、用地取得や伐採について地権者の承諾が得られなかったため、法面の成形など最低限の応急措置を施した。

恒久対策はいつ頃できるか

稲留議員

住民にとっては生活道路であり一刻も早く対策をとってほしいが、いつ頃できるか。

地権者に再度相談する

町長

住民の方が危険性を感じていることはよく理解している。雑木や立木を伐採して道路の奥まで法面保護する必要があり、再度地権者に相談することから始める。

防災行政無線への要望や改善策は

稲留議員

防災無線に関し、住民からの要望改善など問い合わせはないか。

聞き取りづらい事案がある

町長

問い合わせの多くは、基地局から流れる放送が聞き取りづらいという事案である。

改善策はとっているか

稲留議員

屋外スピーカーからの声が聞き取りづらいとか、戸別受信機への改善策はどうか。

聞き取りやすい放送に心掛ける

町長

原因としてハウリングなどがあり、基地局間の放送をずらしたり、屋外スピーカーの方向を変えるなど対応をとっている。戸別受信機の取り扱いについては、広報紙の活用や集落担当職員を通じ、自治公民館の総会などで再度周知していく。

※他質問

- ・ 国保税の今後の法改正の計画を示せ
- ・ 第8期介護保険事業計画での見直しで値上を続けているのか